

田村ひろゆき通信 号外

発行元： 田村ひろゆきとわかりやすい政治をつくる会
代表 田村ひろゆき 〒188-0013 東京都西東京市向台町6-5-4

H26.10月

<http://tamura-h.net>

田村ひろゆき

検索

市内、駅頭などで
見かけたらお気軽に
お声がけください!



自転車で 市内を快走中!

無所属
36歳

田村ひろゆき

西東京市向台町生まれ、中央大学法学部卒
元衆議院議員秘書、元武蔵野大学職員
趣味は旅と鉄道

もっとわかりやすい議会のために!

私が9月の西東京市議会で一般質問を傍聴して、わかりにくいなと思ったのは、用語の難しさに加えて、その質問形式でした。例えば質問項目が5つあるとすれば、質問する議員は質問1から質問5までを長々と続けて質問します。すべての質問が終わると最初に戻って質問1から答弁が始まります。これに対して一問一答制では、質問1をしたらその答え、そして質問1が終わると次に質問2とその答え、という風に1つずつ質問をしていくので聞いている側にとってわかりやすいものになります。これは笑い話に近いですが、一般質問の順番が昼の12時にかかる議員の場合、延々と質問が終わったところでちょうど昼になり、1時間の昼食休憩が終わったら「では答弁から」と1時間半近く前にした質問の答弁が始まるのです。変な話だと思いませんか。

また、近隣市では「議会基本条例」を制定する動きが進んでいます。これは、地方議会を運営する上での基本的な考え方を定めるもので、小平市、東村山市の基本条例の中では、市民への説明責任を果たすために議会報告会の開催が明記されるなど、市民に開かれた市政を実現する原動力となっています。西東京市においても、この議会基本条例の制定を進めるべきと考えます。

	一般質問での 一問一答制	委員会の ネット中継	議会基本条例 の制定
西東京市	×	×	×
武蔵野市	×	△※1	×
小金井市	○	○	△※2
小平市	△※3	×	○
東久留米市	×	×	×
東村山市	○	○	○

※1 予算・決算の委員会のみ中継している
※2 現在未制定だが、制定することが決定している
※3 最初の質問のみ総括で行い、再質問以降を一問一答としている

